



そよ風

2019年
No.119

横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

ワクワクまつい 台風のため中止

10月13日に予定されていたワクワクまつりは、台風のため中止になりました。本誌では毎年イベントの様子をお伝えしたのですが、今年はそれができません。

それで、日本語学習者の皆さんが一所懸命に練習し、発表する予定だった日本語スピーチの内容を掲載します。（紙面の都合で一部を割愛して掲載します。）



《ベトナムと日本の異なること》

グエン ティエン タイン さん

ベトナム ハノイ出身 土曜クラス

①最初はお粥です。日本とベトナムとも、米で作りますね。何が違うかという食べかけです。日本では体も温まることから胃や腸が弱っている時や風邪などの病気の際に食べる事が多いです。ですが、ベトナムでは日常の食事として、食べることが多いです。

②ベトナムにも干支があります。でも、日本とは少し違います。牛年の牛は身近にいる水牛です。うさぎはねこです。ヒツジはヤギです。イノシシはブタです。

干支による、性格の特徴と相性を推測します。例えば、牛年の人は正直すぎます。彼らは慎重に働き、信頼できます。ねずみ年の人は独立し、想像力豊かな人です。作家、アーティストなどの創造的な仕事に最適です。

③お年玉は日本では子供しかもらえません。ベトナムでは子供といい、親といい、友達といい、誰にでもお年玉をあげられます。旧正月に友達が「お年玉ちょうだい」をよく言います。

④日本人にとっての「まあまあ」は点数でいえば、100点満点の70～75点くらいですが、ベトナムでの「まあまあ」は40～45点くらいかな。

⑤みんな大好き甘いバナナはベトナムでは煮物です。タニシと一緒に煮て食べたら美味しいんです。



タニシとバナナの煮物

⑥ベトナムは基本的に暖かい気候ですが、ハノイは四季もあり冬にはそこそこ寒くなります。みんな、寒さにめっちゃ弱いんです。気温が10度以下なら小学校が休み、8度以下なら中学校が休みです。



《ありがとう》

オネリス リコ さん

コロンビア出身 金曜クラス

3年前、私は日本に来ました。そのとき私は日本語が全然話せませんでした。私の大学の日本語クラスは本当に大変だったので、数か月後にこのラウンジに来ました。ここでは、本当に素敵な友達を見つけることができ、ゆっくりと日本語を学びました。

2年前に、素敵な日本の女性と出会い、彼女と日本を自転車で行く旅を始めました。彼女と行った日本の県は27の県です。二人で行った所は、最初は福岡です。それから、大阪、栃木、愛媛、広島、三重、山梨、福島などたくさんです。

今年、明石から備前へ行ったとき、私は食中毒になりました。そのとき私は食堂で3時間くらい横になっていました。その後私はまだ元気がなかったので自転車で走るとき、彼女が前を走って風を防いでくれました。彼女は45キロも私を守ってくれました。そして彼女と私は頑張って一緒に旅を続けました。本当に強くて優しい女性だと思います。

旅をしながら色々な人に出会い、日本の文化を学びましたが、これもこのラウンジで日本語を教えてもらったからできたことです。

私と彼女は11月2日に結婚式を挙げました。最近やっと彼女の家族と仲よくなることができました。

3年前のワクワクまつりのスピーチで、私はお母さんに日本の雪を見せてあげたいと話しましたが、ついにそれが叶います。これら全ては皆さんの助けがあって叶ったことです。





《日々の景色》日本の自動販売機
華 蔚 さん
中国出身 月曜クラス

日本では、1890年に、切手の販売のため初めての自動販売機は現れました。昭和から、日本社会は急速発展の時代に入りました。人件費が高い、且つ深夜まで残業していたサラリーマンが増えてきたため、自動販売機は急速に普及しました。今まで、全日本で、約500万台、年間4兆7000億円以上の売上金額があり、平均25人毎に1台の自動販売機を保有しています。

皆さんよく見る自動販売機は飲み物とか、アイスとか、タバコとか、切符など販売しているものですね。

日本には、以下のようなおもしろい自販機もあります。ご存知ですか？

①これは、日本で一番大きい自動販売機です。宮津漁港にある、氷の自動販売機として、高さは18メートルもあって、およそ4階の建物くらいです。



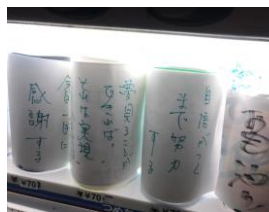
②これは、農園の野菜自販機です。収穫野菜はすぐ販売できて、とても新鮮ですよ。



③挽コーヒーと生ビールの自販機です。缶コーヒーとビンビールより、香りが良くておいしいです。

④ラーメンとから揚げの自販機
冷たい冬でも、暖かい食べ物を自動でつくって販売するのは、お腹が空いた人が助かります。

⑤中身がわからない自販機
商品が出るまでわかりません、宝くじのような高いものが出ると、幸運ですね。励ます言葉をみるのもいい感じですね。



自動販売機の設定温度は、冷却温度は1度～6度で、普通は5度です。加熱温度は52度～58度で、普通は55度です。

自動販売機に使えるのは、1000円札と10円50円100円500円硬貨です。日本の法律により、同じ硬貨を20枚以上入れると、その全額が返却されます。

緊急時に飲み物を無料で提供する機能があるものや、位置情報を発することができるものもあります。

毎日見える、いつでもどこでも利用できる自動販売機は日本の社会を支え、日本の特有の文化として、日々の景色になっています。



《鍵の要らない国・日本》
イブラヒム ラジック ラジャ さん
インド マドライ出身 日曜クラス

私が初めて日本に来た1997年のある時、会社の課長に飲み会に誘われました。その時、課長は、日本の一番いい点は何かと尋ねました。私はテクノロジーだと答えました。



そして同じ質問を、課長にしました。彼は日本は安全で、しかも費用はゼロだと答えました。翌日、彼は日本について書かれた、英語の本をくれました。その本には世界の主な都市の犯罪率の比較表が載っていました。日本が一番低い方だったことを覚えていますが。

日本の生活に慣れた頃、夜中の電車で、女性が、一般の人々が、何の恐れもなく普通に通勤しているのを見て、彼が言ったことは本当だったと知りました。勿論、西側の諸国でも、安全な所はあります。しかし、日本とはっきりした違いがあります。警備が必要なので、費用がかかります。それが課長が私に言った安全でコストゼロの意味だったのです。

私は10年間、兵庫県の高砂市という、小さな町の社宅に住んでいました。信じられないでしょうが、我々家族は鍵をかけたことが無かったのです。

そのころ、私と、働いていた妻も、家に帰るのはいつも遅かったです。息子はまだ小学生でした。いつも4時頃に帰ってきました。幼くて、まだカギを使うことは出来ませんでした。だから、私たちは家に鍵をかけなかったのです。いつも鍵は、空いたままでした。

小学生が一人で学校から帰り、お父さんか、お母さんが帰ってくるまで、一人で家を空けたまま、留守番をしている、そんなことが想像できますか？ しかしここは日本なのです。世界が一番安全な国なので、可能だったのです。しかしこの頃はちょっと心配です。今まで考えられないような犯罪の発生があちこちで増えています。

川崎の小学校では、多くの子供達たちが、殺されました。京都のアニメスタジオでも、多くの人達が命をなくしました。両親が自分の子供を殺したことも新聞で読みました。今までの日本では考えられないような事件です。

私達は日本で暮らす外国人です。日本の規制や規則を守り、地域の安全のために日常生活を過ごしましょう。



《日本語の遣い方》

スー ホーシュアン
蘇 柏璇 さん

台湾 台北出身 日曜クラス

ずっと海外で働くことに慣れていました。特に小さい頃から日本の食べ物、繊細な文化、雰囲気など好きだったので、日本にきました。日本に来る前に台湾で日本語を勉強していたので、ある程度は判るつもりでしたが、実際、生活してみると、改めて日本語の使い方について考えさせられました。日常生活で使う日本語は教科書では学べないものだと思います。実際に生活して、今まで学んだ日本語を話してみると、感覚が違ふと感じ始めました。

その中で特に感じるのは同じ日本語を話しても、人によって受け止め方が、全く異なるということです。日本語は、社内、社外、友人、身内、年上の人、人により話し方が違います。また、仕事と日常の話し方も違います。台湾ではそのことも勉強してきましたが、日本で生活してみると、まだ戸惑いがあります。

日本に来たとき、最初に喫茶店でアルバイトをしました。仕事で中店長と話したとき、店長は私に普通語で話したので、私も普通語で大丈夫だと思い返事をしましたが、今考えると全然ダメだったのです。またあるとき、店長が私に仕事の説明をしたときに、“そうそう”と返事しました。その時に店長に注意されて、言葉の選び方を意識し始めました。言葉の選び方で、私にとって一番不便な場面は会社の飲み会です。飲み会でみんなと一緒に話している時に仲がいい同僚だったら、普通語で、上司なら丁寧語で話さないといけないのでとても混乱します。

もう一つとても基本的な常識ですが、普段、人の名前を呼ぶときには、“さん”を付けなければならないですね。それが慣れなくて、中国語ではだれでも同じ呼び方です。一度飲み会の時に、同僚と喋っていて、うっかり部長の名前を呼び捨てにしました。その場で同僚から笑われましたが、今考えると、とても失礼だったと思います。

簡単な二つの例ですが、今でも毎日の生活で、“日本語の遣い方”について考えさせられます。日本語を勉強するほど、もっとわからないと感じます。

それは外国語を勉強するとき、言葉だけではなく、文化、人の価値観なども勉強しなければならないのです。それも外国語を学ぶ楽しさの一つだと思います。



《私の好きなフィリピン》

デレオン ジュリア さん

フィリピン出身 火曜夜間クラス

私は4年前にフィリピンから日本にきました。その時は12歳でした。

私は日本も好きですが、フィリピンも好きです。なぜかというと、フィリピンの人々は優しく人を大事にするからです。例えば、道などで誰かが困っていたらすぐに声をかけてくれます。そういう人が大勢います。日本人達は、声をかけようかどうか迷っているような感じがします。しかしフィリピンの人は遠慮せずに気軽に声をかけてくれます。とてもフレンドリーな感じがします。

次にフィリピンの料理を紹介します。有名な料理はアドボです。みんな大好き



です。もちろん私も大好きです。鶏肉とジャガイモを塩胡椒と醤油で味付けをします。



シニガンという料理も好きです。フィリピンの家庭でよく作られています。鶏肉とほうれん草とトマトを煮て作ります。味付けにはポークキューブというコンソメのようなものを使います。

次に紹介するのはデザートです。私が一番好きなのはエスパソールというお菓子です。ココナッツでできています。お餅のような柔らかいお菓子です。私はエスパソールが大好きなので一回に5個くらい食べます。またハロハロも好きです。ゼリーとあんこの上にコンデンスミルクをかけます。その上にアイスクリームがのっています。紫イモのアイスクリームとバニラアイスのをせて食べるのが私のお気に入りです。



最後にフィリピンの観光地を紹介します。フィリピンは島国で、きれいな海に囲まれています。私の一番のお薦めはパラワンです。海辺の砂が真っ白で、きれいな貝殻もたくさん見つかります。みんなそれを集めてアクセサリーを作ったりします。

私は2年前に家族でパラワンに行きました。



パラワン



シブ

外国の人がよく訪れるのは、シブという所です。フィリピンには高い山はありませんが、シブには低い山が並んでいます。それにきれいな海もあります。

ぜひ、フィリピンに来てください。



《私の幸せについて》

バイジュアン さん

ベトナム出身 火曜夜間クラス

今日はこラウンジで、「幸せ」について話すことが出来てとても嬉しいです。でも「幸せ」について話すのは難しいです。「幸せ」は人それぞれ違うからです。それでは、「私」にとって何が「幸せ」なのかを話してみます。

それは主人がここにいることが最大の理由であることは否定できません。

私たちは恋に落ちて結婚して、彼と一緒に友好的な日本にきました。でも、私には「幸せ」になるためにも非常に重要と思う他の3つのことがあります。

一つ目は生活にいい環境、二つ目は愛です。愛し愛されることです。そして三つ目は自分自身の成長です。

これからそれらについて詳しく話します。

一つ目はいい環境です。

日本は素晴らしい国です。セキュリティと施設と福祉を意味しています。でも私が本当に慰められたのは、日本で出会った人たちの優しさとおもてなしです。

私は家族と国から遠く離れて住んでいるので、皆さんがいろいろしてくださっていることは私にとって本当に貴重です。多くのボランティアの人が私たち外国人の日本語の勉強を助けています。皆さんにはとても感謝していて、また本当に私の心を温めてもらっています。ありがとうございます。

二つ目は愛です。

愛し愛されることです。私たちは新婚カップルなので、毎日とても幸せな日々です。

最後は自分自身の成長です。

皆さんのおかげで私の日本語がどんどん上手になっています。日本語を勉強することは私に新しい幸せな生活をもたらすので、毎日頑張っています。

以上のように、これらが私を「幸せ」にすることです。

皆さんの「幸せ」はどうか？あなたは人生に満足していますか？

みな どりょく かんしゃ 皆さんの努力に感謝します

港北国際交流の会 理事長 志賀 誠

10月13日の「ワクワクまつり」が中止になり本当に残念でした。ラウンジ創立19年の歴史の中で初めてのことで、多目的ホール出演者のリハーサルを実施した10月6日、日本語学習者とボランティアの皆様がそれぞれの役割を熱心に行っているのを見て「今年も楽しみ」の期待を膨らませました。そのころから気になる天気予報を何度も調べていましたが10月7日には「中止判断あり」の検討をはじめ、改めて準備関係者が多岐にわたり多数いることを再認識しました。今回「ワクワクまつり」が実施できませんでしたが準備のご努力が徒勞に終わらないよういくつか行いました。このスピーチ原稿の発表もその一環です。準備に大きなエネルギーを注いで下さった皆様、本当にありがとうございました。

プチ☆ワクワクまつり

11月8日に金曜クラスではワクワクまつりにエントリーしてくれた学習者を中心に、エントリーしていなかった方も参加して、実現できなかったワクワクまつりに思いを馳せつつ「プチ☆ワクワクまつり」を実施しました。その中では、写真展、クイズ、日本語スピーチそれに世界のファッションショーを行いました。ワクワクまつりで「サムライになろう」にエントリーしていた二人には、真田幸村の兜をかぶって出てもらいました。折り紙の兜ですが、喜んでもらえたようです。



よこはましこうほくこくさいこうりゅう
横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1

Tel 045-430-5670 Fax 045-430-567

E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp

ホームページ http://kohokulounge.com/



Website



Facebook

横浜市港北国際交流ラウンジ TEL 045-430-5670

